

## 本 賞

### 舟見七夕祭実行委員会

入善町に数ある伝統行事の中でも代表的なのが舟見七夕祭です。

江戸時代中期の夏に北陸街道の旧上街道の宿場町であった舟見に、前田藩のお殿様の一行が参勤交代で宿泊された際、地区の住民が七夕飾りや本陣太鼓で旅情を慰めたのが始まりと伝えられており300年以上の歴史があります。

現在祭りは、舟見地区住民で構成された「舟見七夕祭実行委員会」が、先頭に立って企画運営されています。各家庭で趣向を凝らした手作りの短冊が人々の目を楽しませてくれ、短冊コンテストや花火大会、マラソン大会なども行われます。

祭り当日は、入善町はもちろん県内・他県からの人出も加わって、町通りは賑わいます。

舟見地域の家の前や施設には、それぞれが手作りした約10mの長さの七夕竹が飾り付けられます。七夕飾りには市販や既存の材料をいっさい使用せず、家庭にあるものを利用した住民の手作りで最近では、雨にも強い卵のパックや乳製品のパック・ナイロンひも・ビールの缶なども使われた「リサイクル七夕飾り」などもあり、環境にも配慮されています。また、七夕飾り作りに力を入れている家庭は、祭りが終わった日より1年もの時間をかけて材料の収集から七夕飾り制作をされています。

舟見七夕祭は、地区最大の行事として舟見の人たちの手によって、伝統を引き継ぎ愛着をもって育ててきた祭りであります。



## 特別賞

### 新幹線開業くろべ市民会議 ワーキング委員会

去年3月14日の北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅の開業に向けて、黒部市内及び新川地域全体の一体感の醸成と住民意識の高揚を図るために、2013年7月に設置された組織が「新幹線開業くろべ市民会議」です。

くろべ市民会議では、北陸新幹線開業を契機に黒部市内及び新川地域の活性化を図り、開業効果を最大限に引き出すために①機運醸成に向けたPR活動、②新幹線開業関連イベントを実施するとして、ワーキング委員会はそうした事業運営を円滑に遂行するための実務的組織として活動してきました。

具体的な活動としては、PRグッズの作成、CIロゴを活用した市民運動の展開、首都圏・北陸新幹線沿線都市への出向宣伝・観光物産展の開催のほか、開業1年前イベント、開業イベント、駅舎見学会、試験運行車両歓迎イベントなど開催しました。

その活動の最大のイベントといえるのが、去年3月14日、15日に黒部宇奈月温泉駅周辺で開催した開業記念イベント「黒部宇奈月温泉駅サクラ咲ク・フェスタ2015」です。

3月14日の開業当日には、お祝い企画として「旅立ちのメモリアルエール」「会場のみんで踊ろう！恋するフォーチュンクッキー」「メモリアル婚姻届」などを実施したほか、開業翌日の3月15日には、新川地域の市民約500人とともに歌手の高原兄さん、Tomomiさんが、黒部宇奈月温泉駅の発車メロディになった「煌～水の都から～」を大合唱して、開業を祝いました。

2年間の活動の中でも、北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅が開業した2015年の活動が顕著であり、なおかつ、新川地域の活性化に大きく貢献しています。



## 特別賞



Tomomi さん

富山を拠点に活動している歌手Tomomiこと、吉田朋美さん  
4人姉妹の3女として神奈川県に生まれる。  
父は、YKKの吉田忠裕代表取締役会長CEO  
高校卒業と同時に渡米し、米国の名門パークリー音楽大学に入学。

帰国後、2006年に本格的に歌手デビューして、富山や東京を中心に全国で精力的にライブ活動を行っている他、県内企業のCMソングやテレビ番組のテーマソング等を歌っている。近年は、県内のラジオ・テレビ番組に出演して、のびやかな歌声と飾らない人柄で人気を集めている。

その一方で、2013年より祖父のふるさと富山でヤギのチーズを作り始める。1年ほどは、神奈川県から黒部の牧場に通っていたが、一昨年Iターンを決意。黒部に移り住んで歌手活動とチーズ作り励む自称「半農半芸歌手」。そんなTomomiさんにとって2015年は忘れられないメモリアルイヤーとなった。

Tomomiさんが歌う「煌～水の都から～」は、北日本放送のテレビ特別番組のテーマソングとして制作された曲だが、黒部市民を中心に広く新川地域の人々に愛され、北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅の発車メロディに採用された他新幹線開業の翌日である2015年3月15日には、駅前では新川地域の市民およそ500人とともに「煌」を大合唱し、開業を祝い合った。

またTomomiさんが作ったヤギのチーズは、2015年、本場イタリアで開催されたチーズコンテストで、40工房120品の中で、見事、最優秀賞を受賞。アジア初の快挙を果たしている。







# 特別賞

京都大学大学院工学研究科  
教授 中川 大氏

1956年生まれ、朝日町立泊小学校、泊中学校、富山県立富山中部高校卒業  
1981年 京都大学大学院工学研究科修士課程修了  
建設省、国土庁勤務後、東京工業大学助手  
京都大学助手、同大学大学院助教授を経て現職  
専門分野は、都市・地域計画、交通計画  
黒部市公共交通戦略推進協議会 委員・政策支援アドバイザー（H22～27）

平成27年3月14日、北陸新幹線（長野ー金沢間）が開業し、新川地域の交通網は、かつて経験したことの無い大きな変動期を迎えました。

それまでの間、中川教授には公共交通政策における専門家の立場から、継続的に国内外の事例やあるべき公共交通政策論について、講演や会議の場を通じて、行政、経済界、交通事業者、住民など幅広い層へ啓発をいただきました。

また、北陸新幹線 黒部宇奈月温泉駅との重要な乗り換え拠点である富山地方鉄道 新黒部駅の整備における各関係機関の調整や、黒部宇奈月温泉駅構内に導入された乗換情報を表示するデジタルサイネージの構築・設置にもご尽力されました。

併せて、あさひまちバス運行に際してのご指導や、さらには「おもてなし魚津直行便（魚津市）」や「あさひまちバスエクスプレス（朝日町）」といった新幹線駅とのアクセス交通新設における予約システムの導入に際し、ノウハウの提供は勿論、システム設計を地元市町や交通事業者と共同で行う（各市町、交通事業者と京都大学の産学官連携）など、新川地域全体の公共交通政策の進展に多大なる尽力をされました。





## 地域社会賞

### 蜃気楼バザール

実行委員長 村上睦子さん

「蜃気楼バザール」を提案し、旧市内の復活と賑わいづくりに熱意を注ぎ、仲間を集め13年間も続けている。

特に、2000年富山国体以降疲弊している地鉄電鉄魚津駅前や文化町通り商店街の賑わいと再生を願い、毎年4月～11月の間、月1回（第3日曜日）のペースで周辺一帯を会場として「蜃気楼バザール」の名前で現在も開催を続けている。

その内容は、主旨に賛同する出展者や出演者を募集し、手作りコーナー、食物コーナー、地元農産物・水産加工物コーナーや街角演奏、大道芸等も参加して“明るくて楽しい商店街に賑わいを”をモットーに、今では定番イベントとして地域に根差している。

現在では、市内一円に周知されており、開催日を心待ちに市内外からコミュニティを求め大勢の方々が集まり、賑わいを楽しんでいる。

1つの目的が時代の流れで、地域再生から市民交流の場として皆が集まり、月1回ではあるが楽しみを共有していて、今後も柔軟にコミュニティと賑わいづくりで地域貢献をしている。



## 地域社会賞

### 中陣ニブ流し保存会

ニブ流し行事は、中陣集落の後ろを東西に流れる大谷川（俗称前川と呼んでいる。）で、毎年7月31日の夕方集落住民が集まって行う水の祭典です。

舟は、麦わらで棒状の束を作り、麻ひもを巻いたものを船の形に作り上げ、飾りつけをし、子供達が前川に流して今年1年間の五穀豊穡と安全祈願を願った行事です。

最近では50余戸のうち子供のいる家では、夏休みに入ると保存会が準備した麦わらを使って、大人の協力をえて舟を作ります。舟の形や大きさは子供があつかいやすいように、アイデアを生かし提灯や旗等で飾ります。

夕暮れになると子供たちは舟を持って公民館に集まり、保存会では地区住民に、ニブ流しの歌や笛・太鼓をならして参加を呼びかけます。みんなそろったところで、舟を掲げた子供たちは列を組んで保存会の笛や太鼓の囃子にあわせて地区内を練り歩きます。地区内を一巡したところで、最後に前川の淀んだ場所に入り、舟を浮かべて楽しみます。

昔は、楽しみも少なく村民の野良仕事の休息日とし、また子どもたちの楽しみの場として、行ったのではないのでしょうか。

この行事は一時途絶えていましたが、昭和55年に復活し、今では地域全体で継承し継続を図っている。





## 奨励賞

### 魚津市ラグビー フットボール協会

魚津には、幅広い世代にラグビーに親しむ文化が根付いています。その立役者が、昭和23年に創設した「魚津市ラグビーフットボール協会（会長：室口征雄さん）」です。

「ラグビータウン魚津」の実現をめざし、積極的な活動を続けています。新規事業「ラグビースクール魚津」や、恒例のスポラ「ちびっこ道場」、「タグラグビー大会」等を通し1人でも多くのラグーマンを育てると共に、県外からトップコーチを招き、高校生はじめ社会人の強化と指導者の育成に努めています。

協会所属の各チームは、それぞれに活躍しています。小学生タグラグビーのチーム「吉島SP」は北陸ブロック大会で優勝し、平成27年3月、サントリーカップ第11回全国小学生タグラグビー選手権大会に出場しました。（過去8回出場経験あり）「魚津工業高校ラグビー部」は、平成27年11月、第95回全国高校ラグビー大会富山県予選決勝戦で富山第一高校を27対21で破り優勝、35年ぶり2回目の全国大会出場を果たしました。社会人チーム「魚津ラグビーフットボールクラブ」は、長年の戦績と日頃の普及および強化についての活動が認められ、平成27年度文部科学大臣表彰を受賞しました。

2019年は、ラグビーワールドカップが日本で開催されます。さらに2020年には東京オリンピックで7人制ラグビー大会も開催されます。新川地域からもこれらの大会で活躍する選手が生まれることを期待しています。



## 青少年育成賞

### 北陸職業能力開発大学校

魚津市川縁にある「北陸職業能力開発大学校」は、昭和53年の開校以来、多くのエンジニアを輩出しています。

平成27年7月に厚生労働省・中央職業能力開発協会が開催した「第10回若年者ものづくり競技大会」の機械製図（CAD）の部門で、北陸職業能力開発大学校の学生が、見事、金賞（厚生労働大臣賞）と銅賞を受賞し、技術力の高さを全国にアピールしました。過去にも、学生たちはこの大会で多数受賞しています。

近年では、魚津市との共同研究に積極的に取り組み、「蜃気楼シミュレータ展示システム」や「ホタルイカ発光実験装置」「コミュニティバスロケーションシステム」などを開発しています。

他にも、イベント等で教室を開いたり、出前講座を行うなど、新川地域の子供たちにもものづくりの楽しさを伝えています。

製造業の若き担い手を育て、また、都市部への流失を防ぐ新川地域にとって貴重な学校として、「青少年育成賞」を贈ります。





## 新人賞



谷川 あやみ さん  
(生地小学校5年生)

谷川あやみさん（11歳）は、黒部市立生地小学校5年生です。

ポップスから演歌まで歌いこなす小学生シンガーとして注目され、黒部市在住の沢田みどりさんと盲目のアーティストYOUTAさんが作曲した、オリジナル曲「まっすぐ黒部～北陸新幹線～」を歌い、軽快なテンポの曲ははまさしく長年待ちわびた新幹線が、ふるさと黒部にやってくる感動が伝わります。

この曲を持って引っさげて、みらーれTV「新幹線開業生放送・新幹線 de GO」・NHKラジオ「ここはふるさと旅するラジオ」などに出演。またこの活動を各新聞に大きく取り上げられ賞賛され、広く知られるようになりました。

新幹線開業関連イベントでの歌声の披露はもちろん、BCリーグでの始球式、県内各地でのステージライブなどに出演し、その弾むような歌声は、聴く人を魅了します。

「まっすぐ黒部～北陸新幹線～」の曲は、黒部市内の各保育所でお遊戯のリズム音楽として楽しく踊っています。

